

科目名	東洋医学概論 4							年度	2025
英語科目名	Overview of Oriental Traditional Medicine 4							学期	後期
学科・学年	鍼灸科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	安藤亮	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		

**【科目の目的】**

東洋医学の考え方を学び、理解を深める。

**【科目の概要】**

東洋医学的な身体のメカニズムや病気についての考え方や診断法について学ぶ。

**【到達目標】**

- A. 望診の特徴を理解できる。
- B. 聞診の特徴を理解できる。
- C. 問診の特徴を理解できる。
- D. 切診の特徴を理解できる。
- E. 四診で得られた情報から病証が導き出せるようになる。

**【授業の注意点】**

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	内容を説明できる程に理解できている。	内容をおおむね理解できている。	内容をある程度理解できている。	理解できていない部分が目立つ	全く理解できていない
到達目標 B	内容を説明できる程に理解できている。	内容をおおむね理解できている。	内容をある程度理解できている。	理解できていない部分が目立つ	全く覚えられていない
到達目標 C	内容を説明できる程に理解できている。	内容をおおむね理解できている。	内容をある程度理解できている。	理解できていない部分が目立つ	全く覚えられていない
到達目標 D	内容を説明できる程に理解できている。	内容をおおむね理解できている。	内容をある程度理解できている。	理解できていない部分が目立つ	全く覚えられていない
到達目標 E	内容を説明できる程に理解できている。	内容をおおむね理解できている。	内容をある程度理解できている。	理解できていない部分が目立つ	全く覚えられていない

**【教科書】**

東洋療法学校協会 新版東洋医学概論

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

期末試験で100%評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		東洋医学概論 4			年度	2025
英語表記		Overview of Oriental Traditional Medicine 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	四診の概要	四診の概要を理解する	1 四診の種類	四診にはどのような種類があるのかを理解できる	3	
			2 それぞれの特徴	四診各々の特徴を理解できる		
2	望診①	望神や顔面診を理解する	1 望神	望神の意義や種類を理解する	3	
			2 顔面診	顔面診の特徴を理解する		
3	望診②	舌診を理解する	1	舌診の意義や概要について理解する	3	
			2 舌診	舌質の特徴や病的变化について理解する		
			3	舌苔の特徴や病的变化について理解する		
4	望診③	顔面診と舌診の練習	1 顔面診の練習	クラスメイトを模擬患者として顔面診が実践できる	3	
			2 舌診の練習	クラスメイトを模擬患者として舌診が実践できる		
5	聞診	聞診を理解する	1 聞診と五行式体表	聞診に関わる五行式体表を覚える	3	
			2 呼吸音や発声の異常	呼吸や発声に関する異常音の特徴を理解する		
			3 その他の異常音	その他、体から発せられる異常音の特徴を理解する		
6	問診①	基本的問診事項を中心に問診に関する事項の特徴の確認	1 寒熱	寒熱の症状の種類と何により起こる症状なのかを理解する	3	
2 飲食	飲食の症状の種類と何により起こる症状なのかを理解する					
7	問診②		1 睡眠	睡眠の症状の種類と何により起こる症状なのかを理解する	3	
			2 大便	大便の症状の種類と何により起こる症状なのかを理解する		
8	問診③		1 小便	小便の症状の種類と何により起こる症状なのかを理解する	3	
			2 汗	汗の症状の種類と何により起こる症状なのかを理解する		
9	問診④		1 疼痛	疼痛の種類と何により起こる症状なのかを理解する	3	
			2 月経	月経異常の種類と何により起こる症状なのかを理解する		
10	切診①		切診の概要と腹診を理解する	1 切診の概要	切診時にみられる反応の特徴を理解する	3
		2 様々な切診		切診の種類を理解する		
		3 腹診		腹診の特徴を理解する		
11	切診②	脈診を理解する	1 脈状診	脈状診の特徴を理解する	3	
			2 比較脈診	比較脈診の種類を理解する 六部定位脈診の特徴を理解する		
12	切診③	腹診と脈診練習	1 腹診の練習	クラスメイトを模擬患者として腹診が実践できる	3	
			2 脈診の練習	クラスメイトを模擬患者として脈診が実践できる		
13	弁証論治①	弁証を理解する	1 各種弁証の復習	各弁証の特徴をもう一度確認し、思い出せる	3	
			2 十二経脈の弁証	十二経脈の弁証を覚える		
			3 六経弁証	六経弁証の特徴を覚える		
14	弁証論治②	論治を理解する	1 治則	各種治則を理解する	3	
			2 治法	各種治法を理解する		
15	弁証論治③	難経六十九難を理解する	1 難経六十九難	難経六十九難による選穴方法を理解する	3	
			2 実践	脈診と難経六十九難を繋げて実践できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった  
備考 等